

来春の満開を夢見てチューリップの球根植えを行います

～木古内町サラキ岬 チューリップの植栽活動～



シーニックバイウェイ北海道「どうなん・追分シーニックバイウェイルート」の活動団体である「木古内町観光協会」と「咸臨丸とサラキ岬に夢見る会」では、来年5月の「サラキ岬チューリップフェア」に向けて、地域の皆さんと協力してチューリップの球根植えを行います。

記

- 1 日時 令和6年10月19日（土）9時～
- 2 実施場所 国道228号沿い 木古内町サラキ岬（木古内町亀川）
- 3 実施団体 木古内町観光協会、咸臨丸とサラキ岬に夢見る会

※一般参加の募集も行っています。

活動内容の詳細、活動に伴う問合せについては、「別紙」にてご確認ください。

参加される方は、軍手を持参の上、動きやすい服装にて実施場所へお越しください。

※取材をご希望される方は、事前に以下の問合せ先までご連絡ください。

※雨天の場合は中止になる場合がございます。

※函館開発建設部では、シーニックバイウェイ北海道の取組を支援しています。

詳細は、シーニックバイウェイ北海道推進協議会ホームページを御覧ください。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/dou_kei/ud49g700000nOut.html

「秀逸な道」の
紹介はコチラ



【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部

特定道路事業対策官 鈴木 淳（電話 0138-42-7629）

広報官 廣瀬 久恵（電話 0138-42-7702）

函館開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>



サラキ岬 チューリップの球根植え

この取組が行われている木古内町サラキ岬は、幕末維新に活躍した日本最初の軍艦である「咸臨丸」が座礁沈没した場所として知られております。「咸臨丸」は、オランダで建造され、日本海軍の軍艦として活躍したことから、その偉業と功績を称えるため、オランダ北海道人会よりオランダ国花であるチューリップの球根が寄贈されたことをきっかけに、地域の有志によりチューリップ

花園の整備を行ったことが本活動の取組の始まりとなり、今年で20年目を迎えます。
今日では、毎年5月頃には、色鮮やかな約60種5万株のチューリップで彩られ、地域の観光スポットとなっております。



▲今年のチューリップフェアの様子

○実施日時:令和6年10月19日(土) 9:00~

○実施場所:国道228号沿い 木古内町 サラキ岬



出典:地理院地図

○チューリップ球根掘り(7月)



▲咲き終えたチューリップの球根を手作業で丁寧に掘り起こしました。
(今年の球根掘りの様子)

○チューリップ球根植え(10月)



▲来春の開花に向け、約60種5万球の球根を植えます。
(昨年の球根植えの様子)

○問合せ先 ※一般参加を希望される方は下記までお問い合わせください。

木古内町観光協会 TEL:01392-6-7357